



**チャレンジ区画に出店する
皆さんのご紹介**

今月号では、チャレンジ区画に出店される個人・事業者の皆さんに、ご自身が展開される事業内容と出店に関する意気込みをお聞きしました。

「SEE SEA PARK」を盛り上げてくれるチャレンジアの皆さんにぜひご期待ください。

① 若狭湾の楽しさ発信!

2019年、漁師になるため大島に移住してきた齋藤孝二さん。おい町に来るまではアウトドアガイドとして活動していた経験を生かし、2020年にアウトドアツアーの企画・運営をする会社を立ち上げました。今回、町の自然をより多くの人に楽しんでもらうため、チャレンジショップ

SEE SEA WEST

(チャレンジショップ棟)



▲ マリンアクティビティ体験の様子

プに応募されました。「海も近く、人で賑わうこのエリアから若狭の海で遊ぶことの面白さを発信していければと思います。」

**② 地域に根ざせ!
スケートボード文化**

17歳でスケートボードと出会い、活動歴25年となった知原功久さん。今回つみんぴあエリアにスケートパークが完成することをきっかけにスケートボードショップ出店の意思を固めたそうです。「まだまだ危ないイメージの多いスケートボードですが、このショップを通

じて地域に根ざしたスケートボード文化を定着させていきたいです。」



▲ 夏季東京五輪で話題となったスケートボード競技の練習風景

③ 若狭の魅力を家でも味わおう!

現在、おおい町内で県産米を炊飯し量販店などに卸しているおむすびカンパニーさん。今回このチャレンジショップで新たに持ち帰り寿司の販売に挑戦されます。「町内には、地元名産となる持ち帰り寿司が少ないの

が現状です。ふくいサーモンや甘鯛など、若狭には全国に誇れる食材があるので、チャレンジショップの来店を機に観光客の人へ積極的にアピールしていきたいです。」



▲ 地元の海産物などを用いた持ち帰り寿司

④ 栄養満点のじねんじょを皆さんに味わってほしい

下野 幸世さんの家庭では、名田庄自然薯生産組合員としてじねんじょの栽培を行っています。以前から自分でじねんじょ料理を販売したいと考えていた

そうです。今回このチャレンジショップの募集を聞き応募し、出店審査に見事合格されました。「山の王様と言われるほど栄養価の高いじねんじょを、この施設を訪れる多くの人に味わっていただきたいです。」



▲ 栄養価の高いじねんじょを使用した料理

⑤ 焙煎珈琲が手軽に味わえます

現在、通販サイトを運営しながら、高浜町や町内のスーパーにさまざまな商品を卸している友利 裕哉さん。商品の中でも、特に問い合わせが多いものは珈

琲豆に関してで、新規事業として珈琲生豆きまめのオーダー焙煎をチャレンジショップにて行うとのこと。「手間だと思われがちですが、意外と手軽で簡単だということを皆さんに知っていただきたいです。」



▲ こだわり抜いた珈琲豆

問

指定管理者 リライトおおい(株)

☎ 0770・59・1228